



あまとうぶ



毎月十九日は「防火の日」

みんなで守ろう！地域の安全！

**東海地震、南海地震、東南海地震、被害軽減に
家庭と地域、みんなで取り組みましょう。**

秋の火災予防運動

実施期間
11月9日(日)～15日(土)

平成15年度 全国統一標語 **その油断 火から炎へ 災いへ**

これからは、風が強く空気が乾燥し、火災の発生しやすい季節です。火事は、ちょっとした不注意から発生しています。火の取扱いには十分注意しましょう。

わが家の防火対策

放火

家のまわりに燃えやすいものを置かない

天ぷら油

揚げ物をする時はそばを離れない

電気器具・配線

電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない

ストーブ

石油ストーブは火をつけたまま給油したり持ち運んだりしない

ストーブの近くには、燃えやすいものを置かない

たばこ

寝たばこやたばこの投げ捨てはしない

地震対策

地震発生! そのときどうする

いつでもどこにいても、冷静に臨機応変に

家の中

- 揺れを感じたら、テーブルなどの下に隠れ、身を守る(余裕がなければ、手近の座ぶとんなどで頭を保護する)。
- 外へ逃げるときは、瓦やガラスなどの落下物に注意し、落ち着いて行動を。
- 裸足で歩き回らない(ガラスの破片などでけがをする)。
- 火の始末は、すみやかに(コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに)。
- 乳幼児や病人、お年寄りなど災害弱者の安全確保を。

まずは身の安全を



揺れを感じたら丈夫な机やテーブルの下に身を隠しましょう。

デパート・スーパー

- カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動を。パニックなどの人災を避ける。

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス・看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- 近くに空き地などのないときは、周囲の状況を冷静に判断して、両側の建物から離れた歩道の中央など、安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。

正しい情報の入手



ラジオなどで正確な情報を入手。デマにまどわされずに行動する。

電車などの車内

- つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- 乗務員の指示に従って落ち着いた行動を。

車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難を。

「その油断 火から炎へ 災いへ」

平成十四年度の

主な事業概要

安全で安心な地域社会づくり



住民の皆さんや、事業所、学校等による消防訓練を八十八回、一万三千人余のご参加を得て実施、防災意識の高揚、各種災害時における対応能力の向上を図りました。

二 消防防災行政

(一) 消防車両・資機材の強化

ア 水槽付消防ポンプ自動車の更新を行い、本署に配備しました。



イ 東海豪雨の経験から昨年度に続き、ウェットスーツを始め、水防資機材の増強を図りました。

(二) 救急体制の充実強化

ア 応急手当の普及啓発として、救急指導を始め、普通・上級救命講習を二十八回実施、七百三十人の受講者全員に対し修了証を交付しました。

イ 救急救命士二名を養成し、今年度より救急業務に従事しています。

三 火災予防

(一) 住宅防火診断

平成四年十月より一般家庭を対象に住宅防火診断・指導に取組んでいくところですが、全国的に、住宅火災による死傷者が増加の傾向にあるため、一万三千三百三十世帯に訪問し、防火診断・防火指導を行いました。



(二) 予防体制の推進

立入検査、建築設備指導及び危険物施設の安全管理指導等を行いました。

(三) 広報活動

春・秋の火災予防週間及び危険物安全週間を中心に、防火看板及び広報誌等を活用して、火災予防に努めました。

四 職員の資質の向上

(一) 研修

消防大学校、愛知県消防学校等で行われる各種の研修に職員を派遣、知識・技術の向上を図りました。

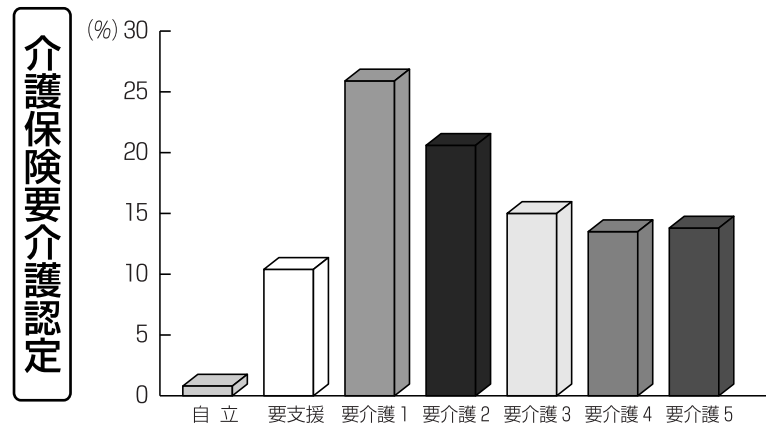
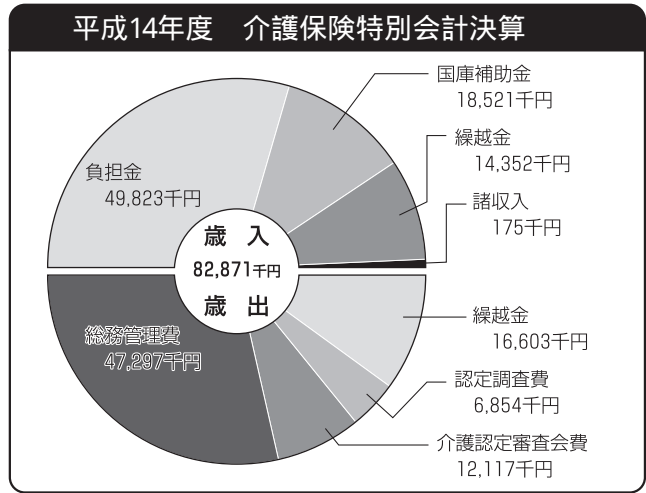
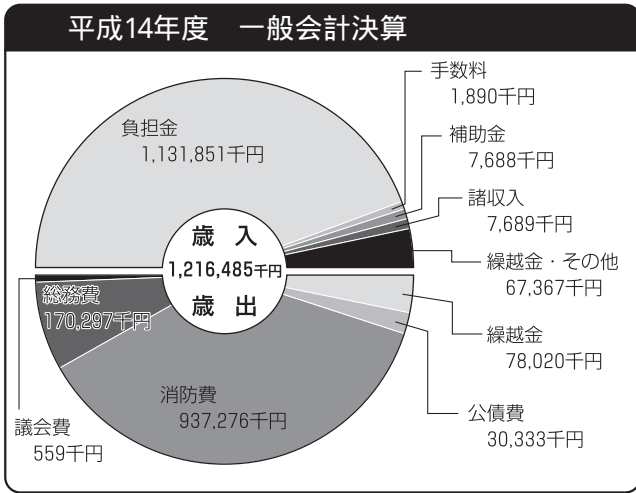
(二) 人的交流

津島市・蟹江町・海部南部消防組合の三消防本部と人的交流を行い、組織の活性化及び充実強化を図りました。

五 新規職員の採用

消防吏員五名を新規に採用し、新戦力強化に努めました。

「その油断 火から炎へ 災いへ」



- 自立：26件(0.8%)
- 要支援：317件(10.4%)
- 要介護1：793件(25.9%)
- 要介護2：630件(20.6%)
- 要介護3：459件(15.0%)
- 要介護4：414件(13.5%)
- 要介護5：424件(13.8%)

平成14年度において海部東部四町(七宝、美和、甚目寺、大治)では、3,063件(前年比16.8%増)の要介護認定審査を行いました。その結果は左記のとおりです。



【後列左から】

家田消防士長(ほふく救出)
 林消防士長(ほふく救出)
 安井消防副士長(ロープ応用登はん)
 倉田消防士長(ロープ応用登はん)

【前列左から】

宮城消防士(ほふく救出)宮城消防士は女性)
 小川消防副士長(はしご登はん)



救助技術を競う!

- 全国大会3チーム出場
- 全国大会へ女性隊員出場

平成十五年七月二十四日に名古屋消防学校で第三十二回消防救助技術東海地区指導会が行われ、優秀な成績を挙げた3チームが東海地区の代表として8月28日に宮城県仙台市で行われた第二十九回全国救助技術大会に出場しました。

全国大会3チーム出場は、当署始まって以来の快挙であり、このような結果を残す事ができたのも日頃から皆様のあたたかいご声援とご協力のおかげです。今後もこの救助技術で培った知識・技術・体力を活かし職員一同あらゆる災害に対処すべく全力を傾注して頑張ります。

「その油断 火から炎へ 災いへ」

新型防火服

火災現場などでの活動性と安全性の向上を図るため、今年の7月より新しい防火衣を導入しました。

この防火衣は、上着とズボンの部分が分かれたセパレート型になっており、火災等の熱などから全身を守ることができるようになっています。

また、ヘルメットをジェット型にし、安全性と視野の向上を図ることができます。



防火対象物定期点検 報告制度スタート

平成十三年九月一日、新宿区歌舞伎町で発生した小規模ビル火災で四十四名の犠牲者を出す大惨事を受けて、平成十四年四月の消防法が改正され、火災発生時の人命危険が高い防火対象物のチェック体制を強化する『防火対象物定期点検報告制度』が施行されました。

点検報告が必要な建物は？

劇場、飲食店、店舗、病院等の不特定の人が出入りする特定用途防火対象物のうち、その中に収容できる人数が三〇〇人以上の事業所や、三〇〇人未満でも特定用途防火対象物が三階以上の階、又は地下にあるもので地上に通ずる階段が一箇所しかない建物がその対象となります。

点検報告の義務がある人は？

対象になる建物の管理権原者（建物の所有者や賃借人等）は、防火対象物点検資格者という有資格者に防火管理上必要な業務等について点検させ、その結果を消防長又は消防署長に報告することが新たに義務付けられました。

定期点検報告と点検済表示



点検結果について私たち利用者は知ることができるの？

点検報告がなされた防火対象物で点検基準に適合している防火対象物については、防火基準点検済証（写真1）を、さらに、検査の結果、消防法令の遵守状況が良好で定められた認定要件に該当していれば、点検報告の義務を免除する防火対象物として防火優良認定証（写真2）を掲示することができます。

また、点検基準に適合していないなどの不備事項があれば消防職員が立入検査を実施し、違反是正について指導をします。（消防法違反対象物である旨の表示をする場合もあります。）

掲示される場所は、防火対象物の出入口、受付等、利用者の目につきやすいところで。

適マークはどうなるの？

この制度が導入されたことに伴い、防火対象物の公示及び表示の法的な制度化がされたため、今まであった適マーク（写真3）は廃止されず。

ただし、従来適マークの対象となっていた旅館、ホテル等については引き続き三年間暫定的に適マークを掲示することが出来ます。また、今回の制度の対象外となる旅館、ホテル等については、自主点検基準に適合していることを条件に防火自主点検済証（写真4）を掲示することができます。



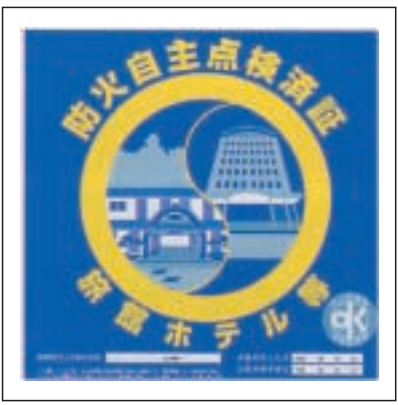
(写真1)



(写真2)



(写真3)



(写真4)

●消防本部ではこの制度を関係事業所へ周知徹底を図るとともに、今後も火災予防を第一に考え、火災による被害を最小限に食い止めるべく業務を行っています。

「その油断 火から炎へ 災いへ」

ご紹介コーナー

ボーイスカウト

大治第一団

ボーイスカウトって！ご存知ですか？(ボーイスカウト大治第一団)「ベージュの服にグリーン帽子・・・」を、かぶって何かキャンプをやっている？「ブルーの服着た子供たちが募金をやっていた！」皆さんが見られるスカウトはこんな感じですよ！我々ボーイスカウト大治第一団では、クッキー作り、工作、川遊び、オリエンテーリング、野鳥観察、スキューバダイビング、登山、ロッククライミング、オーバーナイトハイキング、年二回のキャンプ等のアウトドア、町内清掃、募金活動、年末の防火活動、献血PRボランティアでの社会奉仕活動、また、スカウト(リーダー・ボーイ隊)は救急法を受講し、「そなえよつねに」をモットーに、年間を通して「豊かな人間性を育む」ことを目的に活動しています。

大治第一団では、ビーバー(年中)小二、カブ(小二)小五、ボーイ(小五)中三、ベンチャー(中三)高三、ローパー(成人)隊の五隊があります。リーダーの指導のもとに元気に飛び回る子供たち、笑顔の子供たち、真剣に取り組む子供たちが規律ある行動の中成長して行く姿は素晴らしいです。一度、ビーバー、カブ隊に見学に来てはいかがでしょうか。



「その油断 火から炎へ 災いへ」



連絡先

山崎 之孝(団委員長)

☎四四二 四五五三

多和田光江(ビーバー隊長)

☎四三二 一一七七

明壁 満子

☎四四三 三六一六

募集します

海部東部消防組合では、
次の職員(パート勤務)を
募集します

介護支援専門員

介護保険の要介護認定を行う際に必要な認定調査等を行う業務です。

一 勤務時間

午前8時30分から
午後3時30分まで

二 資格要件

- (一) 海部東部四町(七宝町、美和町、甚目寺町、大治町)に在住する人
- (二) 要・普通自動車運転免許
- (三) 要・介護支援専門員

申込期間

平成十五年十一月四日(火)から
平成十五年十一月二十一日(金)まで
(土・日・祝日を除く午前9時から午後5時まで)

提出書類

履歴書・資格証明書等の写し

選考方法

面接、論文及び書類審査

面接日

後日連絡します。

問合せ先

一 防火指導員

海部東部消防組合消防本部

総務課

☎(052)441-0624

二 介護支援専門員

海部東部消防組合

介護保険認定審査会事務局

☎(052)449-0800



家庭の安心

防火指導員

一般住宅の火災を軽減する目的で行う
火災予防業務です。

一 勤務時間

午前8時30分から
午後3時30分まで

二 資格要件

- (一) 海部東部四町(七宝町、美和町、甚目寺町、大治町)に在住する人
- (二) 要・普通自動車運転免許



火災のない暮らし



住みよい町にしましょう

「その油断 火から炎へ 災いへ」

Qクイズに挑戦!

ナンバープレース

●ルールと第39号の答え●

9	2	6	1	7	5	4	8	3
5	3	4	2	8	6	1	9	7
8	1	7	9	4	3	2	6	5
6	7	2	4	5	1	8	3	9
4	5	9	8	3	7	6	2	1
1	8	3	6	2	9	7	5	4
2	6	5	7	9	4	3	1	8
3	4	1	5	6	8	9	7	2
7	9	8	3	1	2	5	4	6

- 縦9列、横9列のそれぞれの列に、1~9の数字がひとつずつ入ります。
- 太い線で囲まれた3×3のブロックにも、1~9の数字がひとつずつ入ります。
- したがって、縦・横及びブロック内で、同じ数字が重複して入ることはありません。

 ★39号の応募者123名、正解者121名でした。ご応募ありがとうございました。

八ガキの裏面に答えと住所・氏名・電話番号の他、広報誌や消防に対するご意見等を明記の上、応募してください。お待ちしております。

●問題●

1	3						8	4
7			4	8	1			3
			2	9	3			
	6	1				5	9	
	5	8				2	7	
	2	7				4	3	
			9	4	8			
2			6	1	7			5
6	7						1	9

ポイント

数字が重複しないように気を付けて、わかることからうめていけば必ず解けます。

賞品 / 正解者には記念品をプレゼント
 (多数の場合は、抽選で20名)
 締切り / 12月16日(火)当日消印有効
 発表 / 賞品の発送をもって発表とします。
 あて先 / 〒497-0002
 海部郡七宝町大字遠島字十坪119番の1
 海部東部消防組合消防本部生活安全課まで

最近一番気になるのが
 東海大地震のことです。取り
 合えず棚の上の大きな物は
 出来る限り下の方に置きまし

甚目寺町 加藤嘉津江

毎日お勤めご苦労様です。
 時々消防署の前を通りますが、
 署の壁の前面上方にいろいろ
 な絵が描かれています。特に孫
 と一緒に見させていただく時
 には、消防に関する話を話し
 ますと、とても興味を持って聞
 いてくれます。

甚目寺町 白井 麻琴

先日、出先で偶然 火災発生
 現場に遭遇し、付近の道路は
 大渋滞。渋滞原因の多くは路
 上駐車でした。普段から車の管
 理など地域で注意する必要が
 あると思いました。

広報誌に対する意見の紹介



た。寝る前には、火元、
 ガス栓等々、特に以前
 より気をつけています。
 大治町 三輪 勲子

新しい消防車はカメ
 ラが付いていて、撮影した画像
 を本部に伝送することが出来
 ると知りました。これから、い
 おきるかわからない東海大地
 震に備えて、消防士の方には、
 それらを使いこなす訓練に励
 んでいただきたいと思ひます。
 七宝町 佐藤 高志

「火災は本当に怖い…」を念
 頭に毎日生活しています。コン
 セントの隙間のホコリから火災
 になると聞いてからは、必ず確
 認するようになりました。
 美和町 伊藤まゆみ



「幸せな暮らしをまもる 防火の手」